

## 心臓外科

科長（事務取扱） 碓氷 章彦（准教授） 3E

## 24時間対応のチーム医療体制で心臓を守りきる

心臓弁膜疾患、虚血性心疾患などの後天性心疾患および胸部大動脈瘤などの心臓大血管手術を年間約250例行っています。

## 診療体制

スタッフ13名でチーム医療体制を敷き、日勤帯・夜勤帯ともに当番医が常勤し、24時間の迅速対応を行っています。

## 対象疾患

心臓弁膜症（大動脈弁狭窄症・逆流症、僧帽弁狭窄症・逆流症など）、虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞など）、大動脈疾患（胸部および胸腹部大動脈瘤、大動脈解離など）、成人の先天性心疾患、不整脈（ペースメーカーや心房細動根治手術など）。

## 得意分野

脳保護・脊髄保護を要する弓部大動脈手術や胸腹部大動脈手術、自己弁を温存する僧帽弁形成術や大動脈基部再建術、動脈グラフトを多用した冠動脈バイパス術（とくに人工心肺を使用しないオフポンプ冠動脈バイパス術）、心房細動に対するメイズ手術、重症心不全に対する心拍動下での左室形成術や僧帽弁手術です。

## 診療実績

心臓弁膜症手術約80例、冠動脈バイパス術約100例、胸部大動脈手術約100例など、年間約300例の心臓・胸部大血管手術を施行しています。最近5年間の1,172手術例の手術死亡率は1.7%。

## 専門外来

月、火、水、金曜日：心臓・大動脈外科  
第1、3木曜日：ペースメーカークリニック（成田講師）

## 先進医療・研究

重症心不全に対する補助人工心臓、胸部大動脈瘤に対する人工血管置換術とステント術を組み合わせたハイブリット治療を行っています。



## 形成外科

科長 亀井 譲（教授） 9W・9E

## 患者の未来のために一丸となって取り組む

腫瘍、外傷などにより正常とは異なる状態になったものを、可能な限り正常な状態に近づける診療科です。

## 診療体制

教授1人、准教授1人、講師1人、助教2人、医員3人により構成し、より高度で安全な医療を目指しています。新患をはじめ、すべての症例に対して検討会を行い、治療法などを決め、チーム医療体制で行っています。

## 対象疾患

悪性腫瘍切除後の再建、耳・手足の異常、唇裂、漏斗胸、外傷後の再建、あざ、ケロイド、傷跡、眼瞼下垂、臍ヘルニア、小耳症、乳房欠損などの再建外科を主として、QOL向上のための形成手術も行っています。

## 得意分野

悪性腫瘍切除後や外傷後のマイクロサージャリーを利用した再建、手術創・外傷後の治癒遅延、糖尿病などの難治性潰瘍、小耳症、手足の先天異常、漏斗胸、乳房再建などです。

## 診療実績

腫瘍切除後の再建、特にマイクロサージャリーを利用した再建は、年間140例以上行っており、98%以上の成功率を挙げています。難治性潰瘍の再建を含めた治療も多く、良好な成績を収めています。

## 専門外来

腫瘍外来、難治性潰瘍外来、小児形成外来、内視鏡外来、乳房外来などです。セカンドオピニオンも受け付けています。

## 先進医療・研究

大網を利用して血管吻合を2か所行うことで、良好な移植床血管が欠損の近くにならない場合でも、安全にマイクロサージャリーを行っています。その他、培養皮膚移植、再生医療の研究も行っています。

